

路線名	都道府県	対象区間	1. 整備の必要性	2. 整備手法の考え方
九州横断道 延岡線	熊本県	嘉島 JCT ~ 矢部	<p>上の区間の整備は必要である。 高速道路はネットワークとして完成してはじめてその本来の効果を発揮するものであり、また、本県においては九州の中央に位置する地理的特性を生かした施策の推進を図るため、熊本都市圏と九州各県主要都市を1日行動圏として150分で結ぶ「150分構想」を掲げている。これらのことから、上の区間はもとより、基本計画区間である矢部～延岡間を含む全体の完成が不可欠であると考ええる。</p>	<p>上の区間の整備方式については「早期整備が可能となる方式」での整備を要望する。なお、以下の点についても十分配慮されたい。</p> <p>新会社での整備については、料金収入をできる限り建設費に回し、早期整備が可能となる制度とすること。 新直轄方式の整備については、建設費の地方負担分への財源措置が行われること。 また、建設後の維持管理については、地方に負担を求めることなく、国が全てを負担すべきこと。</p>